



わかばかい 嫩葉会

100周年

in うきは野外円形劇場*
〔道の駅うきは内〕



入場無料
当日先着 100 名

※申込不要、当日受付にお越しください



笑福亭風喬さん来たる!

【問合せ先】
うきは市教育委員会 生涯学習課
文化財保護係
TEL：0943-75-3343

令和5年11月23日(木・祝)

- 13:00 ~ 受付
- 13:30 ~ 開会式
- 13:40 ~ うきは市ふるさと大使
笑福亭風喬さん 記念講話
「嫩葉会の落語」
- 14:30 ~ うきは市文化協会演劇部門
記念演劇
- 15:05 ~ 山春小学校の学習発表
- 15:20 ~ お知らせ
- 15:30 ~ 閉会式

*雨天の場合はうきは市民センター3階ホールで開催します。
会場変更の際は市HP等でお知らせします。

わかばかい 日本初の農民劇団「嫩葉会」とは？

浮羽の地にかつて日本初の農民劇団があったことをご存知でしょうか。今から 100 年前の大正 12 (1923) 年、福岡県浮羽郡山春村に、農家の青年たちによる劇団「嫩葉会」が結成されました。活動期間は 3 年ほどと短かったものの、当時成立して間もない「新劇」をのべ 70 本上演し、多い時には千人以上の観客を集め、東京や大阪から公演に訪れる人もいました。



嫩葉会を設立した秀才、安元知之の想い

嫩葉会を結成し率いたのは、医師の安元知之でした。彼は幼少期より成績優秀で多才でしたが、長崎医学専門学校に進学した 19 歳のころ、心臓病を患います。そして、父親の老衰により呼び戻された知之は、ふとしたきっかけで村の青年たちと出会い、彼らに請われて嫩葉会を設立しました。

知之は若者たちにとっての魅力が失いつつあった農村に、単に娯楽をもたらすのではなく、芸術による若者たちの「感情の練磨、思考の向上」を目指しました。彼らの中にはろくに読み書きも出来なかったものもいましたが、自ら戯曲を書く者も現れました。活動は演劇のみならず、音楽サークルを招いた音楽会や美術展覧会、運動会や駅伝大会の開催など多岐にわたりました。



円形劇場の建設



当時、村長や小学校長等の有志で結成されていた「山春農村研究会」で、嫩葉会の提案により劇場の建設が決定しました。毎年 11 月 23 日に招魂祭が行われていた西見台で、式典後の娯楽提供を行おうというのです。大正 14 年 10 月 9 日～ 16 日、村人総出の 331 名で工事が行われ、古代ギリシャ劇場を模した野外円形劇場が完成しました。しかし、知之の他界によって嫩葉会は解散してしまい、ここで嫩葉会の公演が開かれることはありませんでした。

2015 年に道の駅うきはの拡張工事に伴い、円形劇場の発掘調査が行われ、その後の復元整備によって当時の姿が甦りました。観客席からは筑後平野を一望することができます。